

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN101
1	科目名 英語科目名	国語基礎 I Japanese I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 1年前期 中川明日佳*
3	授業テーマ・内容	漢字、語彙力、文法など、文章表現に必要な国語力をつけるために基礎から復習する。 また、文章作成におけるコミュニケーション能力の向上を目指し、「国語基礎 II」に応用できるようにする。 毎回演習問題を課すので、積極的な受講態度が要求される。
4	学習成果	常用漢字を正しく読み書きできるようになる。 接続詞について理解し、正しく使えるようになる。 正しい係り受けの文が書ける。 整合性がとれた文章が書けるようになる。
5	履修条件	本講義は、内容的に I・II で一体のものなので、必ず前期後期通年で履修すること。
6	備考	毎回国語辞典を携行すること。
7	テキスト・参考書	テキスト:「国語演習ノート」漢字・語句 中部日本教育文化会 「文章トレーニングノート」 第一学習社
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	随時課題を提出させ、添削・採点の上、返却・指導する。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	図書館ガイダンス	資料収集と図書館利用	予) 図書館の位置を確認しておく(2 時間) 復) 図書館の本を借りてみる(2 時間)
第 2 週	文章表現とは	正しい文字・正しい表記	予) シラバスを読んでおく(2 時間) 復) 自宅や図書館で新聞に目を通す(2 時間)
第 3 週	図書館学習 (1)	新聞各紙の比較と考察 (1)	予) その日のニュースを見ておく(2 時間) 復) プリントの整理と確認(2 時間)
第 4 週	図書館学習 (2)	新聞各紙の比較と考察 (2)	予) その日のニュースを見ておく(2 時間) 復) プリントの整理と確認(2 時間)
第 5 週	適切な表現とは (1)	表記のルールを知る	予) トレーニングノート P8・9 を読んでおく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 6 週	適切な表現とは (2)	話しことば、呼応関係に関する実践	予) トレーニングノート P18~21 を読んでおく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 7 週	主述の呼応・副詞の呼応	文章の中の呼応関係	予) トレーニングノート P22・23 を読んでおく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 8 週	小テスト (1)	適切な文章表現に関するテスト	予) 試験範囲の復習(3 時間) 復) 試験答案の検討(1 時間)
第 9 週	用字法・句読法	文章のリライト	予) トレーニングノート P30・31 を読んでおく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 10 週	文章表現実践 (1)	課題に即した題材選び	予) トレーニングノート P36~39 下段(考え方を)読んでおく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 11 週	文章表現実践 (2)	課題に即した結論の述べ方	予) トレーニングノート P40~43 下段(考え方を)読んでおく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 12 週	文章表現実践 (3)	意味の言い換え	予) トレーニングノート P44~47 を読んでおく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 13 週	文章表現実践 (4)	文章の内容・表現についての推敲	予) これまでの復習(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 14 週	自己アピール	「これからの自分」のアピール	予) 「自分に期待すること」について考えておく(2 時間) 復) ノートの整理と確認(2 時間)
第 15 週	小テスト (2)	文章の内容・表現に関するテスト	予) 試験範囲の復習(3 時間) 復) 試験答案の検討(1 時間)

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	70	1-1 論理的思考
筆記試験 レポート試験		1-2 コミュニケーション・スキル
授業時間内 試験・演習	30	2-4 生涯学修力
授業時間外 レポート 平常点		

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN201
1	科目名 英語科目名	国語基礎Ⅱ Japanese II
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 中川明日佳*
3	授業テーマ・内容	前期の「国語基礎Ⅰ」に続き、さらに日本語表現の基礎力をつける。前期の内容をもとにして、後期は就職活動に直結する敬語や手紙文を中心に学ぶ。また、図書館での演習を通じてグループワークのトレーニングを行う。 毎回実際に、書いたり、話したりする演習を課すので、積極的な受講態度が要求される。
4	学習成果	漢字の多義的な構造や言葉の広がりについて理解し、説明することができる。 敬語の概念について理解し、正しく使えるようになる。 手紙の概念について理解し、正しい形式で書けるようになる。
5	履修条件	本講義は、内容的にⅠ・Ⅱで一体のものなので、必ず前期後期通年で履修すること。
6	備考	毎回国語辞典を携行すること。
7	テキスト・参考書	テキスト:「さりげなく使う敬意表現」 中部日本教育文化会
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	随時課題を提出させ、添削・採点の上、返却・指導する。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	図書館ガイダンス	インターネットと図書館利用	
第2週	話し合う技術	グループワークとは	予)シラバスを読んでおく(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第3週	図書館学習 (1)	漢字を考える	予)図書館の辞書の位置を確認しておく(2時間) 復)もう一度自分で引いてみる(2時間)
第4週	図書館学習 (2)	言葉を考える	予)新語について考えてくる(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第5週	敬語法 (1)	敬語の種類について	予)敬語の使い分けについて考える(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第6週	敬語法 (2)	尊敬語とは	予)尊敬語について考える(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第7週	敬語法 (3)	謙譲語とは	予)謙譲語について考える(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第8週	敬語法 (4)	丁寧語・美化語とは	予)丁寧語・美化語について考える(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第9週	敬語法 (5)	敬語まとめ	予)これまでの復習(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第10週	小テスト (1)	敬語のテスト	予)試験範囲の復習(3時間) 復)試験答案の検討(1時間)
第11週	図書館学習 (3)	POP作成	予)書店などで本の陳列の方法を見える(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第12週	手紙の書き方 (1)	手紙の書き方を学ぶ	予)手紙と葉書の違いについて考えてみる(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第13週	手紙の書き方 (2)	手紙の実践	予)授業日に合う時候の挨拶文を考えてくる(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第14週	手紙の書き方 (3)	手紙まとめ	予)これまでの復習(2時間) 復)プリントの整理と確認(2時間)
第15週	小テスト (2)	敬語・手紙文のテスト	予)試験範囲の復習(3時間) 復)試験答案の検討(1時間)

## 成績評価の方法

### 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験		1-1 論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
筆記試験 レポート試験		
授業時間内 試験・演習	70	
授業時間外 レポート		
平常点	30	

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN102
1	科目名 英語科目名	日本語表現法 Japanese Composition and Style
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年前期 斎藤安輝*
3	授業テーマ・内容	「国語」ではなく世界の言語のひとつとしての「日本語」の視点を養うために、他言語と比較しての日本語の特徴を、構造・語順・文法や語彙などの面から考える。 その上で主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法を学ぶ。 また、社会生活に必要な現代敬語を、口語表現中心に修得し、文章表現に応用する。
4	学習成果	1.グローバルな視野に立って他言語と比較することで、言語学的視野に立って普段使っている日本語を認識できる。 2.日常の言語生活において論理的に観察・分析し、学んだことを応用できる。 3.言語について考察したことを口頭、又は文章で説明できる。 4.基礎的な敬語法を理解し、正しく話したり書いたりできる。
5	履修条件	無し
6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:随時プリント配布
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	提出された課題は、添削・採点の上、返却・指導する。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	図書館ガイダンス	資料収集と図書館利用	予) 図書館の位置を確認しておく(2時間) 復) 図書館で本を借りてみる(2時間)
第2週	言語とは	人間にとって言語とは?	予) シラバスを読んでおく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第3週	日本語の特色 (1) 世界の言語	世界の言語の現状	予) 世界には言語はいくつあるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第4週	日本語の特色 (2) 言語の三分類	世界の言語の特徴と分類	予) 日本語と英語、中国語の違いとは?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第5週	日本語の特色 (3) 日本語の表記	文字と表記	予) 日本語にはどんな文字があるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第6週	日本語の特色 (4) 語彙の上から	擬態語と擬声語、方言	予) 擬態語・擬声語にはどのようなものがあるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第7週	修飾語	修飾語の係りかた	予) 日本語の修飾語の係り方の特徴は?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第8週	代名詞	指示代名詞と人称代名詞	予) 指示代名詞にはどのようなものがあるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第9週	言語におけるジェンダー	男言葉と女言葉	予) 男言葉と女言葉の実例を考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第10週	文末表現と文体	文末決定性とそのルール	復) ノートの整理と確認(2時間)
第11週	敬語 (1)	敬語の3種と変換式敬語	予) どのような場合に敬語を使うか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第12週	敬語 (2)	尊敬・謙譲・丁寧語の様々な言い方	予) 尊敬・謙譲・丁寧語の具体的な表現を考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第13週	敬語 (3)	ありがちな敬語の間違い	予) よくある敬語の間違いの具体例を考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第14週	敬語 (4)	敬語表現の誤文訂正問題演習	予) 自分がよく間違える敬語表現は?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第15週	まとめ	前期の授業内容のまとめと質疑応答	予) 疑問点の抽出(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第16週	期末試験		予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験 筆記試験 レポート試験	70	1-1 論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習 授業時間外 レポート 平常点	30	

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN202
1	科目名 英語科目名	日本語表現法演習 Exercises of Japanese Letters and Documents
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 斎藤安輝*
3	授業テーマ・内容	文章表現のための漢字、熟語、慣用表現など、語彙・文法力を中心とした基礎的な知識とテクニックを身につける。また、前期の「日本語表現法」で学んだことを基にして、実際に文章を作成する。 縦書きの手紙文、横書きのビジネスレターなど、毎回様々な文章作成や演習問題を課すので、各自積極的な受講態度が要求される。
4	学習成果	1.日本語に於ける漢字の成り立ちや読み、熟語の構造を習得し、正確に記述できる。 2.手紙文の構造や慣用的な表現、定型文、便箋・封筒の使い方などを習得し、そのうえで実際に正しく手紙が書ける。 3.ビジネス文書を正式な形式に従って、慣用表現や定型文また、敬語法を用いて正しく作成できる。
5	履修条件	日本語表現法を履修していることが望ましい
6	備考	必ず国語辞典携行のこと。
7	テキスト・参考書	テキスト:キャリアアップ国語表現法 丸山顕徳編 嵯峨野書院
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	提出された課題は、添削・採点の上、返却・指導する。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	図書館ガイダンス	インターネットと図書館利用	復) 図書館にログインしてみる(2時間)
第2週	漢字の伝来	漢字の伝来と歴史	予) シラバスを読んでおく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第3週	漢字の音と訓	漢字の音訓の成り立ち	予) 音読みと訓読みの違いとは何か(2時間) 復) 演習問題の間違った箇所をやり直す(2時間)
第4週	熟語の構造	元々中国語である熟語を理解する	予) 反対語・対義語の関係にある熟語の例を考える(2時間) 復) 演習問題の間違った箇所をやり直す(2時間)
第5週	仮名遣いと送り仮名	仮名遣いと送り仮名のルール	予) 五十音図で同じ発音の文字はどれか(2時間) 復) 演習問題の間違った箇所をやり直す(2時間)
第6週	手紙文(1)	手紙を書く上での諸注意、手紙文の構成	予) 「拝啓」「敬具」の意味は?(2時間) 復) 頭語結語の対応関係を覚える(2時間)
第7週	手紙文(2)	手紙文の前文・末文の種類と文例	予) 身の回りの手紙文を読んでみる(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第8週	手紙文(3)	実際に手紙を書く	復) ノートの整理と確認(2時間)
第9週	手紙文(4)	葉書文の書き方	予) 手紙と葉書の違い(こつ)について考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第10週	小テスト(1)	手紙文の作成テスト	予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)
第11週	ビジネス文書(1)	横書きの案内状の作成	予) 身の回りの案内状を読んでおく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第12週	ビジネス文書(2)	社外文書の作成	予) ビジネス文書の種類を調べておく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第13週	ビジネス文書(3)	社内文書の作成	予) 社外文書とどう違うか(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第14週	まとめ	ビジネス文書のまとめと質疑応答	予) ノートの整理と疑問点の抽出(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第15週	小テスト(2)	ビジネス文書の作成テスト	予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	80	1-1 論理的思考
筆記試験 レポート試験		1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 授業時間外	20	試験・演習 レポート
平常点		

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN 103
1	科目名 英語科目名	英語表現法 English Usage
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 1年前期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用的、基本的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。</li> <li>・ 基本単語や英文法の基本的事項を理解し、英語活用能力を伸ばす。</li> <li>・ ニュース英語、英字新聞、英語の略語、ことわざなど、身近に使われている英語に慣れることによって、英語に対する苦手意識を克服する。</li> <li>・ 各授業に演習(小テスト等)を取り入れ、英文、熟語・構文、単語の定着を図る。</li> </ul>
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「英語表現」に必要な文法事項の基礎を理解し、構文・熟語を使用することができる。</li> <li>2. 意味の似た動詞(look と see)について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。</li> <li>3. 基本動詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。</li> <li>4. TOEIC L&amp;R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。</li> <li>5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。</li> </ol>
5	履修条件	無し。
6	備考	教材は事前に Course Power に掲載しておくので、予習しておくこと。 授業の構成上、後期「英語表現法演習」と合わせて履修登録するのが望ましい。
7	テキスト・参考書	テキスト:【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】TEX 加藤 朝日新聞出版 参考書:各自の英和辞典等を活用する。 プリントを配布する。
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	毎時行う小テスト等における誤りの多い問題及び英作文を中心とした復習プリントを中心に行う。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	テスト及び オリエンテーション	確認テスト、授業内容・ねらい等の説明	予)最近のニュースの英語を調べておく(1 時間) 復)復習プリントを行う(1 時間)
第 2 週	Lesson 1	①基本動詞(take)のコア	予)take の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 3 週	Lesson 2	②基本動詞(give)のコア	予)give の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 4 週	Lesson 3	③基本動詞(get)のコア	予)get の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 5 週	Lesson 4	④基本動詞(have)のコア	予)have の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 6 週	Lesson 5	⑤基本動詞(make)のコア	予)make の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 7 週	Lesson 6	⑥基本動詞(be)のコア	予)be の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 8 週	Lesson 7	⑦基本動詞(come, go)のコア	予)come, go の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 9 週	Lesson 8	①似たもの動詞(look, see)のコア	予)look, see の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 10 週	Lesson 9	②似たもの動詞(say, tell)のコア	予)say, tell の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 11 週	Lesson 10	③似たもの動詞(speak, talk)のコア	予)speak, talk の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 12 週	Lesson 11	④似たもの動詞(listen, hear)のコア	予)listen, hear の使い方(テキスト等活用) (2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 13 週	Lesson 12	⑤似たもの動詞(push, press, pull, draw) の コア	予)push, press, pull, draw の使い方(2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 14 週	Lesson 13	⑥似たもの動詞 (fall, drop, clear, clean)の コア	予)fall, drop, clear, clean の使い方(2 時間) 復)プリント内容の定着(2 時間)
第 15 週	復習	Lesson 1～13 の復習、期末試験対策	予)これまでの内容の復習(2 時間) 復)期末試験対策の確認(4 時間)
第 16 週	期末試験	Lesson 1～13 の内容、各小テストより	

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	40	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	40	
授業時間外 レポート	10	
平常点	10	

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN 203
1	科目名 英語科目名	<b>英語表現法演習</b> <b>Exercises in English Usage</b>
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 1年後期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用的、基本的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。</li> <li>・ 基本単語や英文法の基本的事項を理解し、英語活用能力を伸ばす。</li> <li>・ ニュース英語、英字新聞、英語の比喩表現やビジネス連語など、身近に使われている英語に慣れることによって、英語に対する苦手意識を克服する。</li> <li>・ 各授業に演習(小テスト等)を取り入れ、英文、熟語・構文、単語の定着を図る。</li> </ul>
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「英語表現」に必要な文法事項の基礎知識を理解し、構文・熟語を使用することができる。</li> <li>2. 意味の似た動詞(carryとbringなど)について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。</li> <li>3. 基本動詞や前置詞、形容詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。</li> <li>4. TOEIC L&amp;R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。</li> <li>5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。</li> </ol>
5	履修条件	無し
6	備考	教材は事前に Course Power に掲載しておくので、予習しておくこと。 授業の構成上、前期「英語表現法」と合わせて履修登録するのが望ましい。
7	テキスト・参考書	テキスト:【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】 TEX 加藤 朝日新聞出版 参考書:各自の英和辞典等を活用する。 プリントを配布する。
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	毎時行う小テスト等における誤りの多い問題及び英作文を中心とした復習プリントを中心に行う。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	オリエンテーション Lesson 1	授業内容・ねらい等の説明 ⑦似たもの動詞(carry, bring)のコア	予) carry と bring の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 2 週	Lesson 2	⑧似たもの動詞(turn, change)のコア	予) turn, change の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 3 週	Lesson 3	⑨似たもの動詞(work, operate) のコア	予) work, operate の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 4 週	Lesson 4	⑩似たもの動詞(close, shut)のコア	予) close, shut の使い方 (テキスト等使用) (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 5 週	Lesson 5	①時を表す前置詞(in, on, at)のコア	予) in, on, at の使い方 (テキスト等使用) (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 6 週	Lesson 6	②時を表す前置詞(after, before, until, by)のコア	予) after, before, until, by の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 7 週	Lesson 7	③時を表す前置詞(since, from, for, during)のコア	予) since, from, for, during の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 8 週	Lesson 8	④場所を表す前置詞(on, above, over, by, near)のコア	予) on, above, over, by, near の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 9 週	Lesson 9	⑤場所を表す前置詞(to, for, between, among)のコア	予) to, for, between, among の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 10 週	Lesson 10	⑥その他の前置詞(for, by, behind)のコア	予) for, by, behind の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 11 週	Lesson 11	⑦その他の前置詞(with, over, about)のコア	予) with, over, about の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 12 週	Lesson 12	①形容詞(good, right, bad, wrong)のコア	予) good, right, bad, wrong の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 13 週	Lesson 13	②形容詞(high, tall, low, short)のコア	予) high, tall, low, short の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 14 週	Lesson 14	③形容詞(big, large, little, small)のコア	予) big, large, little, small の使い方 (2 時間) 復) プリント内容の定着 (2 時間)
第 15 週	復習	Lesson 1～14 の復習、期末試験対策	予) これまでの内容の復習 (2 時間) 復) 期末試験対策の確認 (2 時間)
第 16 週	期末試験	Lesson 1～14 の内容、各小テストより	

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	40	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	40	
授業時間外 レポート	10	
平常点	10	

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIPGEN 204
1	科目名 英語科目名	英語特別演習 Advanced English
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 1年後期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOEIC L&amp;R 及び4年制大学編入学試験対策を主たる目的とする。</li> <li>TOEIC L&amp;R の演習を取り入れ、Listening 力と Reading 力の強化を図る。</li> <li>4 年制大学の編入学試験の過去問に挑戦する。</li> <li>科学系の小論文でよく使われる英語構文や語彙を学習し、科学技術の英語に対する理解を深める。</li> </ul>
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>TOEIC L&amp;R の Listening において、短い英文を聞き取り、適切な返答をすることができる。</li> <li>長めの会話文やアナウンス文の大きな内容を聞き取り、適切な返答をすることができる。</li> <li>TOEIC L&amp;R の Reading において、文法・語彙を理解し、適切な語句を選ぶことができる。</li> <li>長めの文書の中の具体的な情報を推測し、質問に答えることができる。</li> <li>科学系の小論文でよく使われる英語構文や語彙を理解し、内容を把握することができる。</li> <li>4 年制大学の編入学試験の過去問に解答することができる。</li> </ol>
5	履修条件	無し
6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】 TEX 加藤 朝日新聞出版 【TOEIC L&R 公式問題集】 ETS 国際ビジネスコミュニケーション協会 プリントを配布する。
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	「TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ」の小テスト及び TOEIC L&R Part 5、Part 7 等における誤りの多い問題を中心に行う。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	オリエンテーション Lesson 1	授業内容・ねらい等の説明 TOEIC L&R 練習問題、編入試験過去問	予) TOEIC 問題集 Part 1 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 2 週	Lesson 2	TOEIC L&R 練習問題 過去問1	予) TOEIC 問題集 Part 2 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 3 週	Lesson 3	TOEIC L&R 練習問題 過去問1、科学技術の英語1	予) TOEIC 問題集 Part 2 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 4 週	Lesson 4	TOEIC L&R 練習問題 長文1	予) TOEIC 問題集 Part 3 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 5 週	Lesson 5	TOEIC L&R 練習問題 長文1、科学技術の英語2	予) TOEIC 問題集 Part 4 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 6 週	Lesson 6	TOEIC L&R 練習問題 過去問2	予) TOEIC 問題集 Part 4 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 7 週	Lesson 7	TOEIC L&R 練習問題 過去問2、科学技術の英語3	予) TOEIC 問題集 Part 5 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 8 週	Lesson 8	TOEIC L&R 練習問題 長文2	予) TOEIC 問題集 Part 5 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 9 週	Lesson 9	TOEIC L&R 練習問題 長文2、科学技術の英語4	予) TOEIC 問題集 Part 6 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 10 週	Lesson 10	TOEIC L&R 対策模試	予) TOEIC 問題集 Part 1~4 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 11 週	Lesson 11	TOEIC L&R 対策模試	予) TOEIC 問題集 Part 1~4 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 12 週	Lesson 12	TOEIC L&R 練習問題 過去問3	予) TOEIC 問題集 Part 7 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 13 週	Lesson 13	TOEIC L&R 練習問題 過去問3、科学技術の英語5	予) TOEIC 問題集 Part 7 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 14 週	Lesson 14	TOEIC L&R 練習問題 長文3	予) TOEIC 問題集 Part 7 の練習 (2 時間) 復) 語彙・構文等の定着 (2 時間)
第 15 週	復習	Lesson 1~14 の復習、期末試験対策	予) これまでの内容の復習 (2 時間) 復) 期末試験対策の確認 (2 時間)
第 16 週	期末試験	Lesson 1~14 の内容を限定して出題	

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	50	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	30	
授業時間外 レポート 平常点	20	

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN105
1	科目名 英語科目名	保健体育 I Sports Activities and Health I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期 澤田 浩*
3	授業テーマ・内容	(体育実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質を養い、心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。 (保健) 社会生活を営む上での基本的な条件である健康の認識を高め、一般社会人としての保健・体育に関する深い理解と高い見識を養うことを目的とする。又、安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動ができるような知識を習得する。
4	学習成果	(体育実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することができる。 (保健) 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であることが分かり、正しい救急法の知識を身に付けることができる。
5	履修条件	無し
6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:プリント教材使用 ワークシート配布
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	第1週から第15週までのレポートは、期末試験時に返却する。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおく。(0.5時間) 復)授業の進め方、考え方を理解しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行って置く。(0.5時間) 復)体調を整えておくこと(0.5時間)
第3週	バドミントン	サーブの練習 簡易ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	スマッシュの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	ドロップショットの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	実技テスト	ゲーム	予)技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復)技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第7週	バスケットボール	パスの練習 簡易ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	〃	ドリブルの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	シュートの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	セットプレーの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予)技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復)技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第12週	保健体育	概論 健康のとらえ方	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	安全な社会	交通安全	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	自然災害	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	応急手当	日常的な応急手当	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第16週	期末試験		

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	30	2-1 チームワーク、自己管理能力 2-3 市民としての社会的責任 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	30	
授業時間外 レポート 平常点	40	



## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN205
1	科目名 英語科目名	保健体育Ⅱ Sports Activities and Health II
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年後期 澤田 浩*、河上俊和*
3	授業テーマ・内容	(体育実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質を養い、心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。 (体育理論) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動ができるような知識を習得する。また、生涯スポーツについての知識も習得する。
4	学習成果	(体育実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することができる。 (体育理論) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展や課題について正しい知識を習得し、生涯スポーツのあり方、及びとらえ方を学習し、自分のスポーツライフを設計できる。
5	履修条件	無し
6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:プリント教材使用 ワークシート配布
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	第1週から第15週までのレポートは、期末試験時に返却する。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予) 柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復) 体調を整えておくこと。(0.5時間)
第3週	サッカー	パス・シュートの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	ドリブルの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	セットプレーの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	チームプレーの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予) 技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復) 技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第8週	バレーボール	パス・サーブの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	スパイク・トスの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	チームプレーの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予) 技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復) 技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第12週	体育理論	人間にとって動くとは何か	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	現代社会と健康	ストレスへの対処	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	運動スポーツの学び方	運動やスポーツでの安全確保・体力トレーニング	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	生涯スポーツの考え方	ライフステージに応じたスポーツ	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第16週	期末考査		

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	30	2-1 チームワーク、自己管理能力 2-3 市民としての社会的責任 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	30	
授業時間外 レポート 平常点	40	

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN117
1	科目名 英語科目名	<b>データサイエンス入門</b> <b>Introduction to Data Science</b>
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期 小池 稔
3	授業テーマ・内容	情報通信技術(ICT)が高度に発展した今日、我々は様々なデータに取り囲まれて日常生活を送っている。現代社会では「データ」の価値が重みを増している。「データサイエンス」はデータを扱う科学である。本科目では、データサイエンスの概要と基本的な考え方について概説する。 データ解析が「知る」「読む」「分類する」「予測する」の4段階からなることを把握し、データの倫理を修得して、正しくデータを取り扱える様になることを目指す。
4	学習成果	1. データ解析が4つの工程から構成されていることを説明できる。 2. データの作成過程が5つの段階から構成されていることを説明できる。 3. 情報倫理の4つの原則とデータの倫理の規範例について説明できる。
5	履修条件	無し
6	備考	本科目はクォーター(8週間)で完結する。
7	テキスト・参考書	テキスト:絵と図でわかるシリーズ・絵と図でわかるデータサイエンス—難しい数式なしに考え方の基礎が学べる 上藤一郎著 技術評論社
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	第8週に期末試験の振り返りを行う。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	データサイエンスとは	予)本科目のシラバスを通読(1時間) 復)本科目の目標の把握(2時間)
第2週	データと社会	データ解析の4つの工程	予)日常生活の中にあるデータとは?(1時間) 復)データ解析の4つの工程の復習(2時間)
第3週	データを知る	データのタイプ、特徴	予)データ解析の第1工程とは?(1時間) 復)データのタイプ、特徴の復習(2時間)
第4週	データを読む	データの集計、可視化	予)データ解析の第2工程とは?(1時間) 復)データの集計、可視化の復習(2時間)
第5週	データを分類する・予測する	クラスター分析、回帰分析	予)データ解析の第3工程とは?(1時間) 復)クラスター分析、回帰分析の復習(2時間)
第6週	データの倫理	情報倫理の4つの原則とデータ倫理の規範例	予)倫理とは?(1時間) 復)期末試験対策(4時間)
第7週	期末試験		予)期末試験対策(4時間) 復)期末試験問題の復習(2時間)
第8週	データサイエンスとAI	期末試験の振り返り、機械学習の基本	予)期末試験問題の振り返り(1時間) 復)機械学習の基本の復習(2時間)
第9週			予) 復)
第10週			予) 復)
第11週			予) 復)
第12週			予) 復)
第13週			予) 復)
第14週			予) 復)
第15週			予) 復)

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連学修成果

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
期末試験	40	2-2 倫理観
筆記試験		2-4 生涯学修力
レポート試験		
授業時間内 試験・演習	20	
授業時間外 レポート	30	
平常点	10	